

2023年 10月 22日

主 日 礼 拝

司 会 ②石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱 ②松岡 清枝姉

賛 美 聖歌480番「輝く日を仰ぐ時」
～ほめよイエスの御名を／主にあれ～

詩篇23篇

聖書朗読 エレミヤ29章10～14節

特別映像 “竹の発芽の不思議さ” から

メッセージ 「決してゆるがない希望」

石井 潤 牧師

献 金 聖歌591番「恐れなく近よれと」

頌 栄 賛美「主は御座におられる」

祝 禱

お知らせ 〔司会者〕

賛 美 ～見よわたしは～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

★本日も礼拝の恵みを感謝致します。午後は聖歌隊の練習が行われます！

☆今週の祈り会：○早天祈祷会、明朝6時。 ◎木曜祈祷会：①午前10時半
ポーマン・ルリ子先生。②夜7時半(大和祈祷会映像)。○準備祈祷会：土曜夜8時。

★来週の日曜礼拝は「宗教改革記念礼拝」(司会：白川達男兄/祈祷：石井秀人兄)。

《予告》☆11/5(日)「こども祝福式」 ☆11/19(日)「収穫感謝礼拝」

☆一年に一回聖書を完読できる！*Bible Reading Plan*〔10/22- /29〕

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	イザヤ 54-58	59-62	63-66	エレミヤ 1-2	3-5	6-7	8-10	11-13
チェック	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇

「決してゆるがない希望」

～神が共におられるという希望～

「神よ、わたしの心は定まりました。わたしの心は定まりました。わたしは歌い、かつほめたたえます。わか魂よ、さめよ。豎琴よ、琴よ、さめよ。わたしはしののめを呼びさします。主よ、わたしはもろもろの民の中であなたに感謝し、もろもろの国の中であなたをほめたたえます。あなたのいつくしみは大きく、天にまで及び、あなたのまことは雲にまで及びます。」詩篇57篇7～11節

この詩篇の歌は、ダビデがサウル王に命をねらわれて、荒野の山や洞穴を転々としながら命からがら逃げ隠れていたときに歌った歌の一つです。彼は豎琴を上手に奏でるミュージシャンでもありました。少年時代は羊飼いをしながら、羊たちに音楽を奏でていました。その音楽は、神への賛美の歌でもありました。

王様に命をねらわれるということはとても大きな悪事をおこなったかのように思いますが、全くの濡れ衣で、ダビデがあまりにも武功をあげるので、王様にとって脅威となっていき、陰謀によって殺されそうになっていたのです。そして、敵ではなく、味方の主君によって命をねらわれる状況になりました。

この7節の前までは、「神よ、わたしをあわれんでください。」「わたしは人の子らをむさぼり食ううしの中に横たわっています。」「彼らはわたしの足を捕らえようと網を設けました。わたしの魂はうなだれました。彼らはわたしの前に穴を掘りました。」と落ち込むような現状を歌った内容がこの7節の直前の6節まで記され続けます。しかし、突然7節になると「神よ、わたしの心はさだまりました！」と確固たる確信に満ちて、「わたしはあなたをほめたたえます！」と。その心は、神への賛美に変わっていくのです。

「ああ、何だか、文句や不平や心配事に自分の口や心が満たされていくようになっている。これは、敵の思うつぼだ。落ち込む必要などないではないか！私は全能なる神様を信頼しているではないか。どんなに絶望的な状況に追い詰められたとしても、自分に与えられている希望は決して失望に終ることはないのだ！なぜなら、神が私と共にいてくださるからだ！」と確信して、大きな信仰の決断を宣言し、神様を賛美したのです。

ローマ人への手紙5章には、「それだけではなく、患難をも喜んでい。なぜなら、患難は忍耐を生み出し、忍耐は錬達を生み出し、錬達は希望を生み出すことを、知っているからである。そして、希望は失望に終ることはない。なぜなら、わたしたちに賜わっている聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからである。」「聖霊によって神の愛が注がれている」とは「神が共におられる」ということ。これ以上の神の愛はないということです。

私たちの主である神様は、イエス様を私たちに与えてくださったことで、聖霊によって私たちと共におられるお方となられました。ですから、どんなことが起こったとしても、私たちには希望しかないのです。その希望を見上げ続け、このお方を信頼し続けていきましょう！